

# 前芝中学校通信

～校長室の窓から～

豊橋市立前芝中学校

第 105 号

H29. 10. 5

## めざす前芝学校の子どもの姿 =秋の行事での実り=②

4 回目となった「校区・保小中合同防災訓練」。中学校 3 年生の企画・運営によるブースは、小中一貫校の核となる行事のこの訓練の中心となっています。今年度は、市総合防災訓練のサテライト会場として市関連のブースも多かったため、3 年生主催のブースは、煙路体験と並行しての「防災クイズ」、前芝消防団とかかわりながらの「水消火器の使い方とバケツリレー」、「エコノミークラス症候群の対応」の 3 つとなりました。また、恒例の前芝保育園主催のブースで、新聞紙スリッパと紙コップづくりを体験しました。

この体験をとおして、子どもたちは防災意識を高め、もしもの時の避難や生活で役立つ知識や技能を学びました。

### 9月3日(日)【校区・保小中合同防災訓練】 ②ブースでの学び(生徒の感想より 抜粋)

- ・バケツリレーは斜めに渡す方が早いことが分かりました。水を運ぶときは、専用の袋に入れることが分かりました、けむり体験では、姿勢を低くして手やハンカチで口を押さえることが分かりました。
- ・躍進館では、3 年生が車中泊の場合に気を付けたほうが良いことや、ストレッチの仕方を教えてくださって、エコノミー症候群に気を付けようと思いました。昨年は小学生だったので、屋上に上がり、今年は地域の方との避難をしましたが、また違ったことが学べました。
- ・エコノミークラス症候群のブースでストレッチをしたのを忘れずに、いざとなった時、しっかりとお父さん、お母さんや老人の方々などに教えてあげたり、やってあげたりしたらよいと思いました。
- ・エコノミークラス症候群のブースでは、その恐ろしさと、水は災害時にとっても大切なものだと分かりました。バケツリレーでは、人がジグザグに並ぶとよくバケツが回るようになることが分かりました。
- ・コピー用紙で紙コップを作ったり、災害が起きたときは水分を補給して体を動かさなくちゃいけないなど、災害が起きた後の避難生活の知識も教えてくれたので、災害が起きた後の生活も安心して暮らせるのでいいと思いました。消火器など、普段使わないものを体験したり、煙路体験の間にあるクイズも面白かったです。



- ・紙コップづくりブースは、とてもいいなと思いました。災害があったときにコップなんかあるかどうか分からないので、コピー用紙で紙コップを作れて、とても助かると思います。

(学校通信のホームページ掲載では、生徒氏名を削除します。ご了承ください)